

まちづくり、
まずは笑顔で
こんにちは

第5回市役所等公共施設 整備ワークショップ 【最終回】

H30.9.22 長久手市総務部財政課

目次

1. 今までのワークショップのふりかえり
2. とりまとめ(案)について
3. グループワーク

1. 今までのワークショップのふりかえり

- ① 市民にとって、今後の市役所はどのようなもので、どうあるべきかを検討していただきます。
- ② 設計に向けての仕様書に、市役所にとってどういう付加機能があったらいいかなどの項目の提案をいただきます。
- ③ 他の施設や計画に関連する事柄についても関連部署と連携していきます。

第1回市役所等公共施設整備ワークショップ



2018年3月11日(日)第1回ワークショップ

- 本市のこれまでの取組の説明
- 恒川先生からの公共施設のあり方と市役所の位置付けについてのお話
- 市役所の施設見学
- 今後のワークショップの中で何を話し合っていきたいかの話し合い

第2回市役所等公共施設整備ワークショップ



2018年4月21日(日)第2回ワークショップ

- ふりかえり
- 上位計画における市役所の位置づけについてのお話
- 市役所の立地についての話し合い

第3回市役所等公共施設整備ワークショップ



2018年5月20日(日)第3回ワークショップ

- ふりかえり
- 新庁舎に必要な機能についての話し合い

第4回市役所等公共施設整備ワークショップ



2018年6月23日(土)第4回ワークショップ

- ふりかえり
- 庁舎等の事例から長久手市役所をイメージ

今までのワークショップのふりかえり

市役所等公共施設整備 ワークショップ通信

01



平成30年3月11日(日)13:30~16:30【参加者:24人】

市役所の建替えに向けて、市民にとって、今後の市役所はどのようなもので、どうあるべきかという結論的なことから、設計に向けての仕様書などに取り入れていくためのご意見ご提案等を話し合うための市民ワークショップが始まりました。(全5回)

第1回には、24人の方が集まり、みなさん熱心に意見交換されていました。

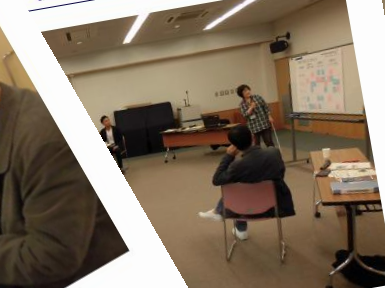
【久手市市長 浦川さんよりあいさつ】

市役所の建替えは、今は人口増加していますが、今後20年後30年后的には減少していくことになり、先を見据えた今後の市役所のあるべき姿を、先を見据えた今後の市役所のあり方を、市民と一緒に考えていきたいと思います。また、ファシリテーターには、昨年のワークショップの経験のある方、久手市役所、古巣大分大学、久手市役所にお集まりいただき、ご意見を伺っています。

13:30 あいさつ
13:40 レクチャー1
「本市の市役所整備への向けられたこれまでの取組について」
14:00 レクチャー2
「公共施設のあり方と市役所の位置付け」
14:30 市役所等の施設見学
15:00 グループワーク
16:20 講師・次回のご案内

市役所等公共施設整備 ワークショップ通信

02



1月21日(土)
【参加者:30人】

えに向けて、市民にどのようなものかという結論的な仕様書などの色々なご意見の市民ワークショップ。(全5回)が行われ、30人でした。今回もです。

市役所等公共施設整備 ワークショップ通信

03



平成30年5月20日(日)
13:30~16:30【参加者:22人】

建替えに向けて、市民にとって、どのようなもので、どうあるべきかという結論的なことから、設計に向けての仕様書などに取り入れていくためのご意見ご提案等を話し合うための市民ワークショップが始まりました。(全5回)

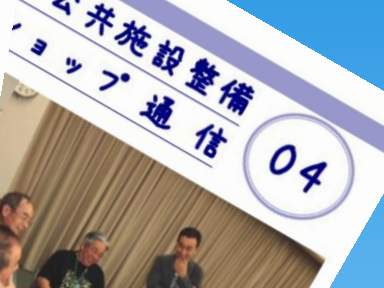
第1回には、22人の方が集まり、みなさん熱心に意見交換されていました。

【久手市市長 浦川さんよりあいさつ】

市役所の建替えは、今は人口増加していますが、今後20年後30年后的には減少していくことになり、先を見据えた今後の市役所のあるべき姿を、先を見据えた今後の市役所のあり方を、市民と一緒に考えていきたいと思います。また、ファシリテーターには、昨年のワークショップの経験のある方、久手市役所、古巣大分大学、久手市役所にお集まりいただき、ご意見を伺っています。

市役所等公共施設整備 ワークショップ通信

04



平成30年6月23日(土)
13:30~16:30【参加者:24人】

建替えに向けて、市民にとって、どのようなもので、どうあるべきかという結論的なことから、設計に向けての仕様書などに取り入れていくためのご意見ご提案等を話し合うための市民ワークショップが始まりました。(全5回)

第1回には、24人の方が集まり、みなさん熱心に意見交換されていました。

【久手市市長 浦川さんよりあいさつ】

市役所の建替えは、今は人口増加していますが、今後20年後30年后的には減少していくことになり、先を見据えた今後の市役所のあるべき姿を、先を見据えた今後の市役所のあり方を、市民と一緒に考えていきたいと思います。また、ファシリテーターには、昨年のワークショップの経験のある方、久手市役所、古巣大分大学、久手市役所にお集まりいただき、ご意見を伺っています。

詳しくは、ワークショップ通信を見てください

2. とりまとめ(案)について

とりまとめ案について

1 立地について

ワークショップでは、実際に市役所の立地を考えるうえで、どのような評価項目が必要なのかという評価項目の検討から、実際に候補地(1か所は市役所周辺)を考えてみて、それぞれを評価していきました。

(1) 評価項目

主な評価項目は次の6つがあがりました。

また、評価軸としてあがった主なものは次のとおりです。

ア 利便性

- ・公共交通(リニモ・Nバス・名鉄バス)の充実度(駅、バス停の距離)
- ・車でのアクセスのしやすさ(中心から少し外れても渋滞がない方がいいなど)
- ・交通渋滞の発生状況(日頃から渋滞が発生しているかどうか)

イ 中心性

市民が市役所に平等に行きやすい場所
(人口の中心地か、地理的な中心地かなど)

ウ 安全性

- ・災害時に病院、消防署、避難所など他の防災拠点と連携がとりやすいような場所
- ・夜間の周辺道路の明るさ

エ 将来性

- ・人口増加に対応できる場所(拡張性があるかどうか)
- ・周辺の発展が見込まれるかどうか

オ 経済性

- ・候補地の土地を市が所有しているかどうか
- ・建設費の有無(新築・リース)
- ・既施設の活用ができるかどうか
- ・引越し等移転費用

カ 親しみ

- ・新庁舎の候補地に慣れ親しんでいるかどうか

とりまとめ案について

(2) 候補地

主な候補地として、市役所周辺、古戦場公園付近、杵ヶ池公園付近があがりました。

評価項目	候補地		
	市役所周辺 ○	古戦場公園付近 ○	杵ヶ池公園付近 ○
利便性	・リニモからは離れている ・駐車場もあり車でのアクセスがしやすい	・リニモの駅に近い ・交通渋滞があり、車でのアクセスはしにくい	・リニモの駅に近い ・交通渋滞があり、車でのアクセスはしにくい
中心性	△ ・昔の中心地、地理的に中心地の少し北 ・人口の中心地からは少し外れている	○ ・地理的に中心地の少し南 ・人口の中心地からは少し外れるが今後人口増加が見込まれる	○ ・地理的に中心地から西より ・人口の中心地である
安全性	○ ・消防署、愛知医大などの拠点施設が近い ・夜道が暗い	◎ ・商業施設との連携が可能 ・リニモの高架が倒れる心配 ・夜道が明るい	○ ・リニモの高架が倒れる心配 ・夜道が明るい
将来性	○ ・北側に農地が広がり、農業発展が見込まれる ・近隣に空き地がある	◎ ・中心性が今後増す ・人が集まる商業施設がある	○ ・リースの場合、人口増加に対応可能 ・新たな土地の確保は困難
経済性	◎ ・土地を保有している ・建物の一部を残して利用も可能 ・職員の負担が少ない	○ ・一部土地を保有している ・建設費がかさむ	○ ・建設費不要(リースで借りる) ・自前の場合土地を買収する必要がある
親しみ	◎ ・慣れ親しんだ場所	○ ・商業施設がありたくさんの人が訪れている	○ ・商業施設がありたくさんの人が訪れている
その他	建替えにあたっては、都市計画の変更をする必要がある	一部土地を市が保有しているが他の計画がすでに進んでいる	アピタは現在営業中の施設であるため、直ぐにというのは難しい

※評価として「◎優れている」、「○普通」、「△劣っている」
 その他の候補地として、上記3か所以外にもござらっせ付近や棒振等といった意見がありました。

とりまとめ案について

2 庁舎の考え方・求められるもの

ワークショップの中で、市役所を建てるにあたって大事なことはなんなのか、どんな庁舎を目指すべきかを話し合いました。

(1) 機能性

ア 使いやすさ

- ・子どもからお年寄りまで使いやすい庁舎（バリアフリー・ユニバーサルデザイン）
- ・総合窓口の設置をし、市民の移動を少なくして一か所で用事が済むようにする
- ・現在駐車場が満車で駐車できないことがあるため、駐車台数を確保する（近隣に臨時駐車場を確保するなど）。

イ 複合化

- ・市役所単独の施設ではなく、公民館、子育て支援センターをはじめとする既存施設の複合化のほか、コンビニ、カフェなどの日常使いできる施設との複合施設とする。

ウ 支所機能

- ・小学校区ごとに設置を進めている地域共生ステーションとの連携をはかり、地域に出向いてできることは地域で行う。
- ・市役所は司令塔としての役割、共生ステーションなどを支所機能としていき、行政と地域を連携させる役割が重要

エ 文化的機能

- ・個展等市民の作品が展示できるスペースや誰でも利用可能なフリースペース、会議室、自習室など、市役所に住民票を取りに来るなどの行政サービスを受けるだけでなく、その他に訪れる機会を作っていく機能が大事

オ 働く場所としての快適性

- ・資料を大きく広げて一時的に作業できるスペースであったり集中して作業できるスペースであったりを確保
- ・職員の働く環境が良くなれば、仕事に対するモチベーションも上がり市民サービスの向上につながる

(2) 将来性

ア 人口増減への対応

- ・将来の人口増加や減少に対応できるように増築、改築がしやすい庁舎とする。
- ・将来の設備の改修を考慮し、改修がしやすい設計とする。
- ・短期間に増改築を繰り返すことないように、将来人口のピークに合わせた規模での整備が必要

イ 多機能化・多様化

- ・会議室や議場は使っていない時、自習室などにして多目的に利用できるフレキシブルな活用ができる市役所
- ・今後の多様な行政ニーズに対応できるように、間仕切りを減らして、レイアウト変更しやすい庁舎とする。
- ・将来性を考えた、フレキシブルに長く使える庁舎する。

(3) 利便性

- ・現在のある庁舎の場所について「愛着」が歴史的にある。
- ・多機能化をする場合、一か所に全てを集めるのは限界があるため、広く分散するというのも必要で、ある程度の範囲で機能も場所も広く考える必要がある。

(4) 安全性

ア 防犯に強い

- ・市役所内に不審者が侵入した際に対応できるようにする
(防犯カメラやさすまた等を設置する)
- ・個人情報多数扱うため、情報管理を徹底する(アクセス制限、入室制限など)

イ 規模・構造

- ・将来予想されている大規模地震にも耐えられる、耐震性のある強い構造の庁舎
(鉄筋コンクリート造か鉄骨、免震構造)
- ・あまり縦移動がないように、3、4階建ての低層建築

ウ 災害対応

- ・地震や災害が起こった際にインフラが途絶えるといけないので、そういった場合にも対応できるようにエネルギーを自給自足できる機能(特に電気、水)
- ・市役所は避難所としてのキャパシティを確保するのではなく、災害時に対応できるシステムの構築が大事

(5) 経済性

- ・既存施設をリースすれば改修費用はかかるが、建替費用、土地代が不要となり新たに新築するより経済的
- ・既存庁舎を少しでも活用できれば、すべてを建て替えるより経済的

3 各スペース等について

ワークショップの中で、庁舎の各スペース等について、次のとおり意見がありました。

(1) 市民スペース

- ・市民が自由に使える大空間があると、イベントや教室等を開催できる。
- ・市役所に用事がなくても、食堂、カフェ、コンビニ等気軽に立ち寄れる施設があると、その他の用事を兼ねて市役所に来るきっかけとなる。
- ・子どもが一時的に待機できるキッズルームがあるといい。
- ・学区の情報交換等ができるように、市民同士が意見交換できる場所があるといい。

(2) 議会スペース

- ・議会だけで占有するのではなく、使用していない時は、多目的に利用できるといい。
- ・多目的に使用するため、机や椅子は可動式がいい。
- ・立ち寄りやすかったり、ふらっと来てもやっていることが分かりやすかったり、市民参加がしやすい、オープンな議場であってほしい。
- ・議会閉会時は、市民に貸し出して財源にあてる。

とりまとめ案について

(3) 窓口・執務スペース

- ・ワンフロアに関連する窓口部署を集約して、一か所で用事が済むようにしてほしい。
- ・仕切りのないオープンな窓口がいい。
- ・個人情報多数扱うので、プライバシーに配慮した所も必要。
- ・フリーデスクにして、フレキシブルな執務室にすることで柔軟な市民対応をしてほしい。(基幹システムなど、固定のシステムなどに配慮が必要)
- ・気軽に使える打合せ・相談スペースが欲しい。

(4) 屋外スペース

- ・日頃のイベントや防災時にも使える多目的広場(できれば全天候型)があるといい。
- ・満車で駐車できないことがあるので、広い駐車場(立体駐車場等)にして欲しい。
- ・雨の時など、屋根付きの車寄せがあるといい。
- ・植栽を市民団体に管理してもらえるような仕組みがあるといい。
- ・ガーデニングなどをできる区画を配置して、貸し出しする。

(5) 外観・構造

- ・災害拠点であるため、安心安全な構造(S造・免震)がいい。
- ・メンテナンスを考え余裕のある階高を確保した方がいい。
- ・木を多く使用した温かみのある内装(木質化)にしてほしい。
- ・自然に溶け込んだ緑豊かな外観にしてほしい。
- ・古戦場のまちを生かした個性のある外観にするというのも一つ。
- ・木造庁舎を望む声はあまり多くなかった。¹⁹

4 ワークショップからの意見

- 今回のワークショップにおいてでてきた意見を、可能な限り今後の新庁舎の設計に反映させてほしい。
- 市のみで進めるのではなく、今後も市民と一緒に進めてほしい。
- 今後の各段階において、ワークショップや説明会、パブリックコメントなど再度、市民の意見を聴く機会を設けてほしい。
- ワークショップの意見がどのように反映されたのか、その結果を教えてほしい。
- 新庁舎の進捗状況を広報などで市民に知らせてほしい。

3. グループワーク

テーマ:とりまとめ案に対してあともう一步

ワークショップ 話し合いのルール

- 1. 人の意見は最後までよく聞く**
- 2. 思いついたことは言ってみる**
- 3. 否定しない**
- 4. 全員が意見を出す**
- 5. その場を楽しむ**